	質問内容	回答
1	現在manabaのResponを利用しておりますが、新システムの「スマホ出席運用設定」がそれにあたるのでしょうか？ その場合、教室内でなくても（学外から）出席確認ができてしまうのでしょうか？ （manabaの場合、教室内に出席番号を掲示していますので、出席者のみ登録可能であることと、仮に友人から番号を教えてもらったとしても、位置情報で、ある程度把握できるよう配慮されています。） 宜しくお願い致します。	学生の出欠管理の機能は、メニューの「出欠管理」＞出欠管理授業一覧＞スマホ出席運用設定より各種設定ができます。先生が指定した4桁の数字を授業内に通知を行うことで、学生の出席登録ができます。位置情報での確認はできないですが、授業時間内の指定した時間内に回答するという制限は出来ます。
2	出欠管理の認証コードを学生が誤って入力しても、出席登録ができていました。manabiの時は、誤ったコードは入力できなかったので、学生さんが不思議に思っていたようでした。 また、私が誤って別のクラスの認証コードを学生さんにお知らせしてしまったことがありましたが、その際も、入力した学生はすべて出席の表示となっていました。	認証コードを設定して出欠管理を行う場合、 ［出欠管理］＞出欠管理授業一覧＞該当科目の「スマホ出席設定」［設定］＞スマホ出席運用設定ページにある「出席登録時/認証チェック」を『する』に設定することで、認証コード（数字最大4桁）による制御を行った出欠管理ができます。 （マニュアル「出欠登録・参照」3ページ参照） 認証チェックを『しない』にした場合 『しない』に設定しても、学生画面では4桁の数字を入力する画面が表示されます。 学生が誤った数字を入力・登録しても「出席」として登録されます。 ただし、出欠登録状況を確認（出欠管理授業一覧＞授業科目＞授業出欠席一覧＞日付＞［日別出欠登録］＞出欠情報登録（日別））された場合、学生の入力した認証コードが表示され、誤った数字を入力している学生を確認できます。また、認証コードが一致しない学生は「欠席」として一括で登録することも可能です。 認証チェックを『する』に設定した場合 学生が誤った数字を入力・登録すると、学生画面で「コードが違います！」と表示され、出席登録を行うことができません。 該当学生が正しい認証コードを再登録しなかった場合、教員側の出欠登録状況確認画面（出欠管理授業一覧＞授業科目＞授業出欠席一覧＞日付＞［日別出欠登録］＞出欠情報登録（日別））では、『出席反映』は「認証エラー」となり『出欠席』は「未設定」の状態となります。なお、認証コードは学生が入力した誤った数字が表示されます。認証コードが一致しない学生は「欠席」として一括で登録することも可能です。 （マニュアル「出欠登録・参照」4ページ参照） 別紙「認証チェックの設定について」も合わせてご参照ください。 認証コード設定は、初期値では「しない」となっているため、利用される場合は「する」に変更を行ってください。（一括で変更することも可能です）